

公明お知らせ 111号

K O M E I ・ E D O G A W A ・ T O K Y O

http://www.e-komei.com

発行：江戸川区議会公明党／平成25年2月 TEL：03-5662-5112 / FAX：03-3674-5860

公明党は行財政改革、議会改革に全力!

23区 初 平成27年度より、
新公会計制度導入が実現へ!
(区議会公明党が平成23年本会議にて質問)
複式簿記・発生主義 「財政の見える化」によりムダ削減を!

- 東京都では都議会公明党が推進し、平成19年度より新公会計制度を導入実現!
正確な財務諸表の活用により、事業評価を厳密に実施・検証し、約200億円の財源を確保しました。
- 世界各国の公会計は複式簿記・発生主義の国際公会計基準を採用しています。国でも導入していない日本は世界の潮流に置いてきぼりです。

議員定数を44→40へ 区議会公明党は定数削減を提案します!

江戸川区の議員定数 (56人=法定定数)

- ▶ 昭和42年 選挙時 48人(8減)
- ▶ 平成15年 選挙時 46人(2減)
- ▶ 平成19年 選挙時 44人(2減)



区議会公明党は、議会改革の先頭に立ち、議会のスリム化と更なる議会運営の効率化を図るため、定数削減を提案します。
地方自治法(改正前)に定める江戸川区議会の法定上限数は56人。昭和42年選挙からは8減の48人となりました。更に、区議会公明党は、平成15年選挙では2減の46人に、平成19年選挙でも2減の44人と、継続して定数削減を推進してまいりました。
一方、議員には首長のような退職金制度はありません。また、平成23年には議員年金を廃止。他方、昨年来の江戸川区の事業の見直しを余儀なくされている中で、更なる議会における見直しも当然のことです。特に、定数削減には大きな効果が期待できます。
議員自らが、身を切る覚悟が無くして、議会改革を口にするにはできないと思います。是非とも、次回選挙までに定数削減が実現できるよう、全力で取り組んでまいります。

平成25年度予算に区議会公明党の要望が実現へ

緊急通報システム「マモルくん」が 利用しやすくなります!

「マモルくん」は、ひとり暮らしなどの高齢者がいる世帯で緊急時の安否の確認及び救助活動を行う「緊急通報システム」です。利用額は月額3460円で、3つの条件がそろえば利用料が減額されました。しかし、「重い発作性の持病」という条件に該当せず、利用者が増加しない原因の一つになっていました。区議会公明党はこの「重い発作性の持病がある方」という条件の削除を強く要望してきました。平成25年度予算では、この条件が削除されることになり利用料減額の対象の方の増加が見込まれることから、さらに利用しやすくなります。

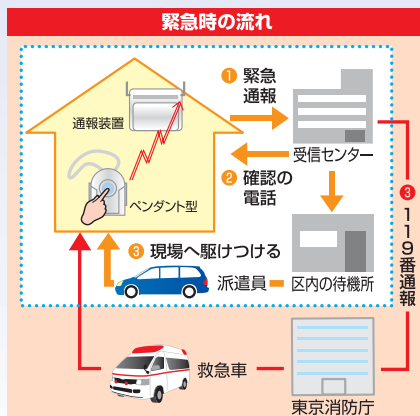
マモルくんをご利用できる方：65歳以上の熟年者(家族同居可)

利用金額：月額3,460円

次の条件を満たす方は減額されます

- 1 ひとり暮らしの熟年者、または熟年者のみの世帯
- 2 区内に兄弟(65歳未満)、子、孫など、二親等以内の血族がいない方

住民税	毎月の利用料金
課税世帯	1,000円
非課税世帯	300円



私道の下水道改修工事に 助成制度創設へ!

改修工事費用の約1/2補助

江戸川区は木造住宅密集地域が多くあり、私道も区内に200kmあります。この私道の下に埋設してある下水道が、ずれたり、破損したりすると、路面との間に空洞ができて、道路が陥没することがあります。

下水道の補修工事は高額になりますが、現制度では全て私道の皆さんの負担となります。行政として「区民の生活環境の向上に資する」という観点から工事に対する助成制度の創設をすべきだと昨年の第4回定例会の本会議で多田区長に対し、強く主張いたしました。その結果、平成25年度予算にこの助成制度が創設。

これにより、下水道改修の際に、私道の皆さんの自己負担は費用の約1/2で済むことから、大変に喜ばれています。

